

人工種苗生産技術による水産養殖製品の生産行程 についての検査方法

1 適用の範囲

この検査方法は、日本農林規格等に関する法律（昭和 25 年法律第 175 号）第 10 条第 2 項及び第 30 条第 2 項の規定による認証を受けた生産行程管理者及び外国生産行程管理者が行う人工種苗生産技術による水産養殖製品の生産行程についての検査方法を規定する。

2 生産行程についての検査

人工種苗生産技術による水産養殖製品の生産行程についての検査は、生産行程管理者及び外国生産行程管理者が **JAS 0005** の **2.6** に規定する生産ロットごとに、箇条 **3, 4** 又は **5** に掲げる事項の記録（以下“管理記録”という。）を適切に作成し、保管し、当該管理記録に基づき次に掲げる事項について確認することにより行うものとする。

- a) 当該生産行程に係る管理記録が当該生産ロットに係るものであること
- b) 当該生産ロットに係る生産方法が、人工種苗（育種選抜された養殖親魚又は天然親魚から自然産卵、誘発産卵又は人工授精により採卵した受精卵又は当該受精卵からふ化した仔魚・稚魚をいう。以下同じ。）にあつては **JAS 0005** の **3.1, 3.2, 3.3, 3.4** 及び **3.5** に、養殖魚にあつては **JAS 0005** の **3.1, 3.3, 3.4** 及び **3.5** に、加工品にあつては **JAS 0005** の **3.1** 及び **3.5** に適合するものであること

3 人工種苗の管理記録

人工種苗の管理記録の事項を次に示す。ただし、**b)**については採卵又は受精を行う場合、**c)**についてはふ化を行う場合、**d)**及び**e)**については人工種苗の組織小片又は魚体を保管する場合、**f)~h)**については人工種苗を受け入れた場合に限る。

- a) 人工種苗生産施設の名称及び住所
- b) 採卵、受精方法及び受精年月日
- c) ふ化年月日
- d) 親魚個体又は親魚群の識別情報
- e) 保管した組織小片又は魚体の情報
- f) 出荷元の名称及び住所
- g) 人工種苗の受入年月日及び受入個数又は尾数
- h) **JAS 0005** に基づき格付された人工種苗の格付の表示の有無
- i) 魚種
- j) 人工種苗に係る飼料等に関する情報
- k) 時系列に沿った増減個数又は尾数
- l) 出荷年月日

- m) 出荷個数若しくは尾数又は出荷重量
- n) 出荷先の情報

4 養殖魚の管理記録

養殖魚の管理記録の事項を次に示す。

- a) 出荷元の名称及び住所
- b) 人工種苗又は養殖魚の受入年月日及び受入尾数
- c) **JAS 0005** に基づき格付された人工種苗又は養殖魚の格付の表示の有無
- d) 養殖魚に係る飼料等に関する情報
- e) 時系列に沿った増減尾数
- f) 出荷年月日
- g) 出荷尾数又は出荷重量
- h) 出荷先の情報

5 加工品の管理記録

加工品の管理記録の事項を次に示す。

- a) 出荷元の名称及び住所
- b) 養殖魚又は加工品の受入年月日及び受入尾数又は個数
- c) **JAS 0005** に基づき格付された養殖魚又は加工品の格付の表示の有無
- d) 出荷形状（ラウンド、セミドレス、ドレス、フィレー等）
- e) 出荷年月日
- f) 出荷尾数若しくは個数又は出荷重量
- g) 出荷先の情報